

防災教育や啓発活動学ぶ

技術士会と建コン協が講演会



会場のもよう

(公社)日本技術士会中
国本部(大田一夫本部長)
と(一社)建設コンサルタ
ント協会中国支部(小田
秀樹支部長)が主催する
平成29年度第1回防災講
演会が18日、広島市中区
大手町の県立広島大学サ
テライトキャンパスで開
かれた。参加者は、防災
教育や防災訓練などの重
要性を学び、地域防災力
の向上に役立てた。

今回の講演会のテーマ
は『みんなで考える自然
災害』啓発活動への取組
み』。開会挨拶に立つ
た大田本部長は「近年は
ハード対策だけでなく、
ソフト対策も必要。ソフ
ト対策で十分な効果を得
ようとすれば、日頃の防
災教育が特に重要となっ
てくる。本日の講演はバ
ラエティーに富んだ内

容。皆さんにとって有意
義なものになることを願
っている」と述べた。

講演では、研究者の活
動として、(公)国立高等専
門学校機構の加納誠二
氏、徳山工業高等専門学
校の目山直樹氏、山口大
学工学部の瀧本浩一氏が
それぞれ防災教育や防災
啓発をテーマに各種取り
組みを紹介。その中で、
加納氏は「若年層を自主
防災組織に組み込む仕組
みが必要」と指摘したほ
か、「知識の普及ではな
く、姿勢の教育が重要
だ」と説明した。このほ
か、民間団体等による活
動報告なども行われた。
講演会は、広島県災害
復興支援士業連絡会が共
催、中国地方防災研究会
が後援した。定員200
人を上回る参加があった。